

I 平成22年度の実績概要

1 平成22年11月の提言を受けた取組み内容

平成21年度実績を評価・検証した結果を踏まえ、平成22年11月に進行管理委員会から提言されたことについての主な取組み内容は以下のとおりです。

(1) 市民の理解を深める取組みの充実

「住んでよかった、訪れてよかった」の基本理念実現のためには、観光振興の取組みに対する市民の理解と協力が不可欠です。平成22年度に神奈川県ふるさと雇用再生特別交付金基金を活用して実施した「観光資源創出及び商品開発等事業」のなかで、観光客を迎える側の意識・動向調査として、市民及び市内の事業者を対象にアンケート調査を実施しました。

その結果、鎌倉のイメージとして「歴史の中に暮らす誇りとなるもの」と思う市民が64.6%、「地域経済を活性化させるもの」と思う市民が53.3%にのぼる一方「どちらかといえば観光客にあまり来て欲しくない」とする市民は13.0%にとどまるなど、積極的に観光客を受け入れようとする姿勢が見られることがわかりました。引き続き、観光振興の取組に対する市民の理解を深め、市民と観光客がともに快適に過ごせるまちづくりを目指していきます。

(2) 点から面への連携強化

新たな観光エリアの拡大のためには、従来から観光客が多く訪れている有名寺社等の観光資源のみならず、その他の既存の観光資源や、まだあまり知られていない観光資源などを組み合わせることにより、地域の魅力そのものを高めていく必要があります。そのための潜在的な観光資源の掘り起こしのための調査に着手しました。その結果、従来はあまり観光資源として認識されにくかった鎌倉地域以外の神社仏閣や、生活に密着した湧水などの生活文化資源等、合計115件の地域資源を発掘し、観光客による市内の回遊につなげる方策を検討しました。

(3) 各種統計データの充実

従来から実施している入込観光客数調査及び観光消費額調査は、長年にわたるデータが蓄積されている点で重要なものですが、そのデータは観光客数の重複があるなど、実勢と離れた数値を示しがちな側面もあります。このため、経済効果の推計に基づいた戦略的な施策を展開していくために、従来のデータだけでなく神奈川県が実施した「神奈川県観光客消費動向分析調査」結果の活用を検討し、より実勢に近い数値の算出を目指しました。また、鎌倉市独自の指標について、調査方法や算出方法の検討に着手し、観光を鎌倉市の産業として数字でとらえることを目指しました。

(4) 情報共有と情報発信の強化

鎌倉観光の最新の情報を発信するため、観光課のホームページの「撮れたて！鎌倉（画像）」及び「かまくら最新ニュース（文字）」の更新をほぼ毎日実施しました。

また、鎌倉の観光情報を集約し、観光客がワンストップで情報を入手できる仕組みについて、他団体のホームページなどを参考にしながら検討を行うとともに、観光協会のホームページの見直しの検討に参加しました。さらに、携帯電話などのIT機器による観光情報の提供について検討を行いました。

(5) 観光を横串とした地域連携の体制作り

観光資源を支える団体や人材のネットワークの構築を目指し、それらの調査を行い、3月には、観光資源の保存や活用に興味のある市民を集めたワークショップを開催し、今後の鎌倉市の観光資源の活用の意見交換などを行い、平成23年度への商品開発に役立てました。

(6) 観光需要の平準化

地域・時間・季節による観光客の偏りにより、既存の観光エリアが集中する鎌倉地域では交通集中による道路の渋滞など市民生活にも影響が生じています。こうした状況の解消の一助とするため、新たな観光資源を開発し、紹介することによって、観光客の地域的な分散を図るための調査に着手し、これを着地型観光商品の開発につなげることにしました。

(7) 優先順位と横断的な取り組み

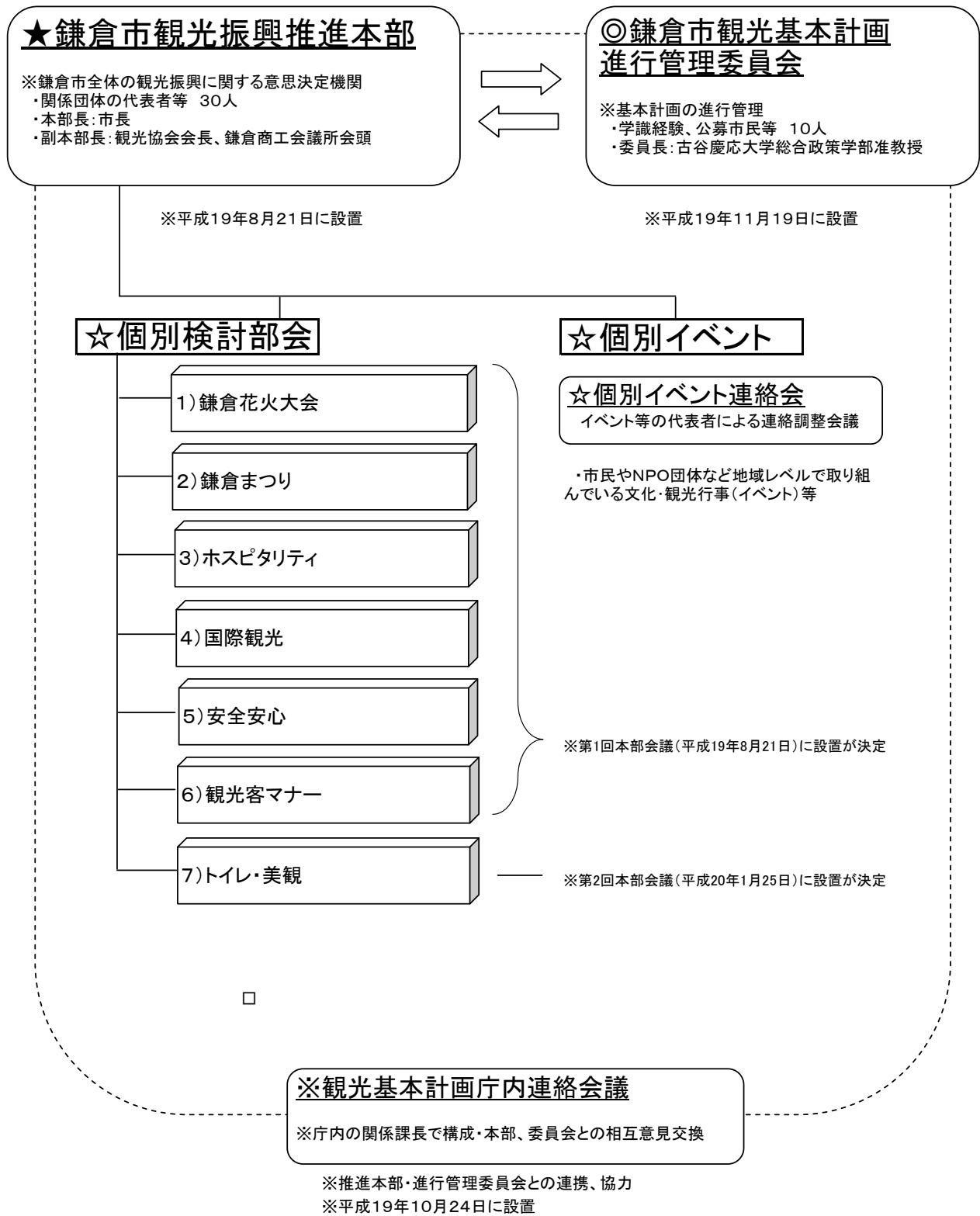
厳しい財政状況の中、ホームページ上への広告掲載による財源確保の検討を行い、観光振興に必要な事業が継続できるよう努めました。

また、近隣自治体で構成する湘南地区観光振興協議会などの観光客誘致事業に引き続き参加して鎌倉の魅力のPRに努めるとともに、横浜市や横須賀市などとの新たな連携を実施し、従来にない枠組みでの情報交換など、広域的な観光の促進に努めました。

(8) 第2期鎌倉市観光基本計画の推進体制の見直し

第2期鎌倉市観光基本計画の中間見直しの一部として、推進体制の見直しに着手しました。鎌倉市の観光に関する最高意思決定機関と位置づけられていた「鎌倉市観光振興推進本部」から、実務者から成る「鎌倉市観光振興推進協議会」に改組し、その役割を意思決定機関から情報交換の場へと変更し、より機動的な組織となるよう準備しました。

2. 平成20年2月以降の推進体制



3 推進体制の活動状況

★鎌倉市観光振興推進本部会議

回数	日程	主な審議内容
第9回	22年5月31日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の活動報告について ・平成22年度の活動予定について ・個別検討部会以外の取組について
第10回	22年11月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市観光基本計画の進行状況とその評価について ・第62回鎌倉花火大会について ・第63回鎌倉花火大会について
第11回	23年3月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期鎌倉市観光基本計画の23年度目標指標について ・第2期鎌倉市観光基本計画の推進体制の見直しについて ・第53回鎌倉まつりについて

◎鎌倉市観光基本計画進行管理委員会

回数	日程	主な審議事項
第8回	22年9月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の実績評価について ・平成22年度評価報告書の内容等について
第9回	22年10月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の実績評価について ・平成22年度評価報告書の内容等について
第10回	23年3月4日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度の目標指標の検討について ・第2期鎌倉市観光基本計画の推進体制の見直しについて

☆ 個別検討部会

国際観光個別検討部会は、鎌倉国際観光親善大使について鎌倉市観光振興推進本部へ提言をまとめるため、平成22年4月28日に開催をしました。

鎌倉花火大会個別検討部会、鎌倉まつり個別検討部会、ホスピタリティ個別検討部会、安全安心個別検討部会、観光客マナー個別検討部会、トイレ・美観個別検討部会は、前年度までに鎌倉市観光振興推進本部へ提言や報告を行い、一定の成果を挙げたことから部会の開催はありませんでした。